

会 議 議 事 録

1 会議名	第1回長岡市市民協働推進審議会
2 開催日時	平成25年2月22日（金曜日） 午後4時から午後5時まで
3 開催場所	シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3階 市民協働センター 会議室B・C
4 出席者名	(委員) 恩田委員 上村委員 河村委員 佐竹委員 澤田委員 田中委員 樋口委員 山村委員 渡辺委員 綿貫委員 (事務局) 市民協働推進室 山崎室長 星特命主幹 小村特命主幹 大竹総括主査
5 欠席者名	なし
6 議題	(1) 正副会長の選任 (2) 長岡市の市民協働について (3) 市民協働推進施策について ① アオーレ長岡の取組みの実績と来年度の考え方 ② 市民活動に関する支援策
7 審議結果の概要	・ 議題(1)について 正副会長が委員の互選により選任された。 ・ 議題(2)及び(3)について 事務局より説明があり、委員による意見交換が行われた。
8 審議の内容	
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 議題 (1) 正副会長の選任 会長及び副会長は、長岡市市民協働推進審議会規則により、委員の互選により決定いたします。 事務局に腹案がありますので、ご披露させていただきます。会長には樋口委員、副会長には河村委員を推薦します。いかがでしょうか。</p>

委員	(異議なし)
事務局	<p>それでは、会長は樋口委員、副会長は河村委員にお願いします。</p> <p>今後の議事については、審議会規則により樋口会長から進行をお願いします。</p>
会長	<p>それでは、議事に入らせていただきます。まず、事務局から長岡市の考える市民協働について説明いただき、その後具体的な施策の検討に移りたいと思います。</p>
事務局	<p>(2) 長岡市の市民協働について</p> <p>(3) 市民協働推進施策について</p> <p>①アオーレ長岡の取組みの実績と来年度の考え方</p> <p>②市民活動に関する支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より一括説明 ・意見交換 (以下、発言の要旨)
会長	<p>それでは、委員の皆様から順番にご意見をお願いいたします。</p>
委員	<p>市民活動推進事業補助金について。</p> <p>この補助金は、ただイベントにお金がつくということではなく、市民活動団体が持続的に活動できるようにするためのものだと理解する。だが、どんな活動をどのように報告して、誰が見定めるのか。意思決定が非常に難しいと感じた。</p>
委員	<p>補助金は「より使いやすくなった」というイメージ。このイメージをどのように団体の方々に広めていくか考えるべきである。</p> <p>恐らくその「使いやすい」という部分にいろいろな団体がアプローチしてくると思う。まず補助金への導入をどういう風にアピールしていくか考えるべきである。</p>
委員	<p>市民協働センターでの相談業務は、どのような相談があるのか。誰がどのように解決するのか。</p>
事務局	<p>まだ傾向と呼べるようなものはありませんが、基礎的なものから専門性の高いものまで幅広くあります。</p>

委員	<p>相談を受けたときは、答えを持っている方につなげるという「コーディネート」が私どもの役目であると考えています。行政同士だけでなく、いろいろなところと連携を深めていくことを模索しています。</p> <p>アオーレ長岡でのイベント等について、合併地域の方々を含めた企画会議の開催を希望する。また、イベントの際にアオーレと合併地域がつながる仕組みを作してほしい。</p> <p>市民協働センターの運営について。オープンから約1年が経過し、いろいろな情報が蓄積されたと思う。情報をしっかりとカテゴリ分けして、いろいろなところと共有していくべきである。</p>
委員	<p>合併各地域においても、いろいろな活動団体があり、その課題は千差万別である。その課題をプロのアドバイザーとして解決していくことが協働センターの役割だと考える。</p> <p>地域の中には、何かしたいがどうしたらいいかわからないという意見が多く出ている。そういった市民活動の芽を早く見つけて拾い上げ、形にしていかなければならない。協働センターは、プロのアドバイザーとしてスピード感も求められていることを覚えておいてほしい。</p> <p>各地域にしっかりと入り込むことで、ここにいたのでは分からない情報も伝わってくる。各地域との関係もより密にして、情報のやりとりをしてほしい。</p>
委員	<p>補助金について。</p> <p>市民交流ネットワークアオーレと市民協働ネットワーク長岡が一緒に窓口を担うということで新しい取組み。だが、窓口スタッフが事前に補助金について、きちんと理解していないと対応が難しいと思う。窓口スタッフの中に専門的な人材がいるといいのではないか。</p>
委員	<p>市民と行政との協働の出発点は、市民が色々な思いを持って動くこと。その中で、公^{おおやけ}で関わったほうがうまくいくものがある。そこで市民と行政の協働が生まれてくる、というのが一つの姿だと思う。だから、市民がやりたいことをやれる雰囲気、環境が大事である。</p> <p>市民活動推進事業補助金については、とりあえずこういう形もあると思うが、最終的には市民が市民の活動を応援していく。行政が市民の活動を応援する補助金と並行して、市民が市民の活動を応援する仕組みを模索していくことが、行政の側にも市民の側にも必要だと思う。</p>

委員	<p>まず、この審議会とは何をする会か。規則をみてもミッションが書いてない。</p>
事務局	<p>市民協働に関しては、具体的なミッションを作ると、かえってその本質を分かりづらくしてしまうと考えます。市民協働というものは、目的ではなく、手段・手法であるからです。だから、あまり制御はしたくないと考えています。</p>
委員	<p>その点は理解するが、審議会の位置づけを明確にしておくべきである。</p> <p>つぎに、行政の立場について。市民協働という流れの中で、熱意・やる気のある人たちとのつながりをもったことは非常にすばらしい。この人たちの声を市民協働推進室から市役所全体に広めていってほしい。つまり、「行政は下支え」という位置から次の展開まで踏み込んで考えてほしい。</p> <p>最後に、協働センターの相談業務について。やる気があって悩んでいる人の声をヒントに、こちらから仕掛けていく公募事業があってもいいのではないか。それが政策提言につながれば、行政にとってもいいことなのではないか。</p>
委員	<p>アオーレになったことによって、垣根は低くなったと思うが、アオーレを全然知らないという人も多い。もっと発信をして、いろいろな人にわかってもらう工夫が必要である。</p>
委員	<p>補助金について。審査は、いい申請書類が書ける指導をする場ではなく、団体の行っている活動が公益性の高い事業だということを伝えられる場だと考えたほうがいい。</p> <p>自分たちが楽しんで終わりではなく、地域などへの波及効果があるということを団体に伝えていってほしい。</p>
委員	<p>補助金を作って、市民活動がもっと盛んになってほしいと一生懸命宣伝しても市民には届かない。一番届くのは、自分がお金が欲しい立場になったとき。2,500万の予算なら、10万円×250組といったように、小口でいっぱい当事者が増えることが望ましいと思う。</p>
委員	<p>市民協働について。民間のほうが行政よりも縦割りで、自分たちの思うところでないと絶対一緒にやろうとしない。同じ地域でほかの組</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>織・団体と一緒にやるという意識を市民の中から作っていく。そして、市民同士もしくは企業とコラボレーションしながら長岡市を活性化する。そういうところに導いていくのが、この市民協働ということになるのではないか。</p> <p>長岡市役所は市内最大の企業。市役所のマンパワーが市民協働とどう関わっていくのかというのも非常に大きなテーマだと感じた。</p> <p>我々が仕事をするうえで、ハードルを下げていくことはありません。ハードルを上げていき、一つひとつクリアすることが必要です。</p> <p>先ほど縦割りの話が出ましたが、市民協働推進室は縦割りの組織にいかに入り込むかを常に考えています。最近では、単独の部署のみで解決できない行政課題が多いと感じます。そのときに市民協働の手法を取り入れることで解決することもあります。そういう影響を与えるのが市民協働推進室の役目ではないかと感じています。</p> <p>活発な意見交換ありがとうございました。これで議事を終了いたします。議事の進行にご協力いただきありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">（ 閉 会 ）</p>
--------------------------------	---

(出席委員の署名欄) 省略

- 9 会議資料
- ・資料1 長岡市の市民協働・市民協働施策について
 - ・資料2-1 アオーレ長岡の運営
 - ・資料2-2 市民交流ネットワークアオーレ役員名簿
 - ・資料2-3 市民交流ネットワークアオーレ平成24年度事業計画
 - ・資料2-4 平成24年度「アオーレ長岡」主なイベント
 - ・資料2-5 平成24年度 市民交流支援事業の概要
 - ・資料2-6 平成25年度「アオーレ長岡」イベント等の開催予定
 - ・資料3-1 市民協働センターの運営
 - ・資料3-2 NPO法人市民協働ネットワーク長岡役員名簿
 - ・資料3-3 平成24年度 市民協働センターの相談状況
 - ・資料3-4 市民活動推進事業補助金について
 - ・資料3-5 市民活動推進事業補助金募集要項(案)